

・総合型スポーツクラブについて
・公共施設の今後の取り扱いについて



平林信一郎

問 総合型スポーツクラブの今後の方針について。

答 総合型地域スポーツクラブの設立について特に大事にしなければならぬことは、地域においてスポーツクラブを組織化しようとする機運を高めることが何よりも大切であると考えております。しかし、組織化に向けて市民の皆さんの意識は依然として期待するほど盛り上がりがなく、市の押しつけ意識も依然として強くあるのが現状です。そうした中、各地域では総合型スポーツクラブという名称こそ使われておりませんが、スポーツ団体の活動は盛んにおこなわれております。鶴里町でスポーツ広場が開かれ親子さんが軽スポーツを楽しまれた。町体協やPTA関係者が中心となり活動されました、これも一つの地域を中心とした総合型スポーツクラブ的な動きとらえることができるとしては、こうした動きを今後大事に育てようとしていく方針。

問 公共施設の今後の取り扱いについて。

答 文化会館は事実上大会議室のみが利用可能であり、織部の里との連携できる施設の検討など具体的な計画はまだできていない。

西部体育館は十七年度に西部体育館及び周辺施設整備事業として検討をしましたが、現在のところ事業開始にはまだ至っていない状況。

美濃焼ランドは老朽化しており取り壊しを考えております。建物内には古窯遺跡からの出土品、旧土岐川発電所の発電機などが保管されており、取り壊しにはそれらを移動させなければならず、その対応に苦慮しております。

・地上デジタル放送完全移行について
・土岐市観光大使委嘱について



西尾 隆久

問 デジタル化によって多様なサービスが受けられ豊かで便利な新しい世界を実現出来るなか現在の市内でのデジタル放送の受診可能エリアの状況は。

答 平成十九年三月開局の土岐南、平成二十一年五月開局の土岐中継局の本放送開始により、市内の中継局は開局し、それにより、デジタル放送区域として、土岐市内はカバーが可能であると判断している。

問 駄知町の共同アンテナ視聴組合との協議状況は。

答 平成二十一年度予算に商工費補助金として計上したが国の交付要綱が改正され、ケーブルテレビが整備されている区域は補助対象とされず共聴施設は対象外とされました。現在ケーブルテレビ移行に向けて、おりベネットワークとの協議が進められている。

問 今後、デジタル化による難視聴世帯とその対応は。

答 市内で四十から三百三十世帯が難視聴になると推定されているが、現時点ではどの地域、どの世帯が受信できないかは把握できていない状況。今後あらゆる活用手段を含め、検討させていただきます。

問 マスメディアでの観光PRのため、有名人を観光大使として委嘱してはどうか。

答 平成二十一年度に観光協会と協力し、二人のコーディネーターを委嘱し、土岐市特産品PR事業を展開してこの事業の推進を見ながら観光大使の委嘱について効果、実現の可能性を検討していきたい。



▲ 5月に開局した土岐中継局

・メタボリックシンドロームについて
・環境保全について



松浦 勝男

問 保育園、小中学校でのメタボの現状と学校給食センターの献立について、総合病院内分分泌代謝科の受診状況について、今後の対策を伺いたい。

答 保育園、幼稚園においては、毎年の内科健診で肥満傾向が指摘されたお子さんについては、保護者と生活習慣や食習慣について話し合う機会を設けたり、給食参観時に啓発を行っています。身長別標準体重より二〇%以上重い児童・生徒の割合は、昨年のデータで小学校男子八・三%、百四十一人、女子は五%、七十九人、中学校男子は約十二%、百八人、女子五・一%、四十四人で、平成十八年度と比較すると若干増加している。

学校給食センターでは特別肥満対策としての献立はありません。平成二十年に総合病院内分分泌代謝科に受診された方は延べで約一万七百人です。

問 CO₂の排出量削減とEESCO(エスコ)事業について。

答 平成十四年三月に土岐市地球温暖化対策実行計画を策定し、平成十八年度までの五年間を第一次計画期間として温室効果ガスの削減に取り組んでまいりました。平成二十年の本市の事務事業に伴うCO₂総排出量等については二万四千七百九十トンで、平成十九年度と比較すれば、七百七十八トン、約三%の削減になりましたが、基準年度の平成二十一年度との比較では九百十五トン、三・八%の増加で、非常に厳しい結果であると言わなければなりません。「エスコ事業」については具体的な検討はしていません。

問 市道裏山山神線街路樹の管理は。

答 道路景観向上を目的に、九十一本のしだれ桜を植樹しました。管理につきましては、下刈りや施肥、病虫害の駆除等を行っております。

- ・高齢者福祉・介護保険事業計画と介護保険の見直し
- ・保育園・幼稚園の一元化



渡邊 隆

◎計画策定による高齢者の暮らしについて、サービスに配慮がなされていますか。制度の見直しにより、保険料とサービスの関係について、保険給付準備金はどう使われるのか。

新しい要介護認定方式によりランクが下がりサービスに影響がでると指摘されていますがいかがですか。

◎推進ポイントとして高齢者は高齢社会を支えるマンパワーと位置づける。働く意欲を大切に時間、場を確保、社会参加を地域の仲人的役割、地域社会の力で孤立させない。自发力を発揮できるように地域支援事業として予防事業等、ケアマネージャーの充実、サービス体制の確保に努める。保険料は、給付費準備基金の約三億二千万円を繰り入れ、引き上げています。

要介護認定については、本人の能力判定にバラツキがあり、状態に変化がなくてもランクの変更が発生しますが、経過措置として、希望により下げないことができます。この計画では、施設サービスの方が居室サービスより点数が高いため、予算的に高くなっています。

◎保育園ゼロ歳児、幼稚園三歳児の就園希望が多くある中で、一元化の方向での幼児の教育をどう描きながら、どういうあり方や経営ビジョンをお持ちなのか。

◎一元化へは現場と連携して、生活や育ちの場をすべての子どもに保障する。市民部が人事、施策や予算を、教育委員会が幼保のカリキュラムを編成し、計画策定では保護者等との協働体制を組織する。



▲水遊びをする園児 (みつば)

- ・女性の健康支援・がん対策について
- ・スクールニューディール・定額給付金・プレミアム商品券



高井由美子

◎国の今年度補正予算で女性の健康支援対策として女性特有のがんの早期発見、早期治療の一助として、検診手帳の交付とともに、子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンが配布されることとなります。

当市の取り組みをお伺いします。

◎今年度、一定の年齢の女性に対し子宮頸がん及び乳がん検診の自己負担を免除するとともに、検診手帳を交付することにより、検診受診率の向上を図る事業が実施されます。市として、国が示す要綱等に基づき市が実施する子宮頸がん、乳がん検診につき関係機関と調整、事務手続きなどの調整を進めていきたい。

◎受診率向上のためのがん制圧月間の取り組みは。

◎女性特有のがんをテーマに医師の講演会を開催しさらに検診受診の啓発を図るよう計画しております。

◎スクールニューディール構想への取り組みは。

◎小・中学校に電子黒板へ対応可能なデジタル対応テレビの設置を前向きに検討しています。

◎定額給付金、子育て応援特別手当の申請状況は。

◎定額給付金は九一・二％子育て応援特別手当は九一・二％の申請がありました。

◎プレミアム商品券の販売で即日完売に対する市民の声。

◎千三百五十一人(五百五十九人重複)購入されました。販売通知の不十分、購入できないことへの不公平感など多くの苦情が寄せられた。



▲がん検診無料クーポン券

- ・設置されたAEDについて
- ・スマートインターについて



楓 博元

◎学校等にAEDが設置されましたが、学校関係者以外の人に対して、わかり易い設置場所のルールが必要ではないか。又、AEDは小学生でも高学年ならば使用可能な救命方法であり、命の教育という観点からも小学校での救命講習を採用すべきだと思います。

◎AEDの設置場所は職員室の入ったところの目につきやすいところとしております。施設利用者には案内板等で分かる様に整備していきます。小学生への救命講習はAEDの使用目的・使用方法など無理のないよう指導していきたいと考えています。職員の講習は当然のこと、利用者の皆様を対象とした講習も開催したいと思っております。市内五中学校では、生徒対象の講習も実施しています。

◎スマートIC設置時に社会実験が不要となったが影響はあるのか。焼き物のふるさと五斗時でもあり、新産業と伝統産業が融和した新都市としての新しい入口の景観についての考え方は。ICの名称はどのようなのかお尋ねします。

◎社会実験が不要になった影響は、実施計画をこれから作成するため少ないと思われま。景観については機能・安全を最重要視します。ICの設置場所は大変狭いため、オブジェ等置ける場所が確保できれば検討します。名称については地区協議会で検討されます。



▲職員室に設置されているAED

一般質問

6月議会定例会

人口減少について
若年層の雇用について



杉浦 司美

◎人口減少について、どのような施策を考えるか。
また、将来のビジョンについても伺いたい。

◎答 少子・高齢化は急速に進み、現役世代の減少は深刻であります。この流れを抑制するために、子供を産み育て易い環境を整え、良好な居住環境を確保することで、年少人口の減少をできる限り回避することを目指しております。また、陶磁器産業の進行や新産業の育成を図ると共に、女性の社会参画の促進、高齢者の雇用創出を図ることにより、大幅な就業率の低下も回避することとしております。現在、高速道路体系整備による高アクセス性を生かして企業誘致を進めております。総合計画に掲げた諸施設を着実に一步一步進めていくことが大切だと考えております。

◎若年層の雇用について、現状と今後の対策は。

◎答 地元求人数が伸び悩んでいることから、その対策として、進出企業に対し地元高校の新卒者や住民の積極的な採用と雇用枠の拡大をお願いしてまいります。さらに国が指定しました若者自立挑戦プランの中核的な施設に位置づけられ、地域の実状にあった若者の能力向上と就職促進を図るため岐阜人材チャレンジセンターを紹介するとともに活用を促し、若者の雇用機会枠拡大の要請を行う。企業誘致致した企業も若い人を雇ってくれていきますので、下石の五千坪の二区画の土地を有効に活用したい。



▲人材チャレンジセンターパンフ

バーデンパークSOGIについて
市有地に放置されている廃棄物について



山内 房壽

◎バーデンパークSOGIの指定管理者の破綻で、今後の対策と経営指導はどのように考えておられますか。

◎答 事業計画書、収支報告書の提出、事業報告書の作成、報告、毎月の業務報告書の提出、公認会計士、または監査法人の監査済みの会計報告書の提出などが義務付けられております。これらによりましてバーデンパークSOGIの業務状況を把握し、監督していくとともに、今後は指定管理者の創意工夫により、一層市民の皆様にご利用いただくようにしていきたいと考えております。

◎昨年泉小学校に浸水がありましたが、その状況と原因、どのような対策をとられたのか？

◎答 昨年八月二十九日大雨のため、校舎一階北側の廊下一帯約八十六㎡が水浸しとなり、床の張替えとエレベーターの部品の取替えが必要となりました。原因につきましましては、短時間の大雨と幼稚園との間の側溝に土砂が堆積していたことにより水が溢れました。ブロック壁の設置、側溝の掃除を行いました。今後は側溝の改善等含め砂の除去管理を行ってまいります。

◎西之洞工業団地の市有地に放置されている廃棄物は何か。

◎答 近くの工場で生産されたタイルと窯業原料と思われるものが、倒産して破産管財人の管理下にあり所有者不明です。今後については顧問弁護士と相談していきま



▲山積みされた廃棄物

健康な体をつくるための「食育」を
女性差別撤廃で男女平等の実現を
農地を耕作者の手に(農地法「改正」では)



おぜき 祥子

◎すべての子供が朝食を欠かすことなく登校できるようにする対策でもあるのか。消費税の食料品非課税で、給食内容の充実や給食費の負担を減らせるのでは。地産地消で安心な給食を。多治見市のように、市単で栄養教諭を増員しては。

◎朝食の欠食をゼロにするよう働きかけていく。県の栄養教諭を中心に今年度はこの体制で行く。

◎賃金の男女格差は、三三、四%と先進地の中でも深刻。一般職の女性管理職が一名とは。病後児保育や学童保育、家事・育児支援は。男女共同参画プランが五年経過し、成果と今後の課題は。

◎女性参画率の向上を推進。男女ともに働きやすい職場環境を整えること。昇格に関して男女差別は行っていない。女性の力をアップして、市役所の総合力をあげたい。

◎農政の失敗を反省し、食料自給率を向上させる農政に転換すること。企業の農業への参入を自由化し、農地の所有まで道を開く農地法の「改正」では、農業の家族経営を否定し、農業の持続性に重大な障害をもたらすのでは。価格保障と所得補償で経営が成り立つ農政を。

◎農地転用は減少傾向に。耕作放棄地一二・七%。二名が新規就農。企業参入で農地の荒廃化、耕作放棄地の解消、農村地域の確保が進む。



▲田植えをする小学生

・消防行政について
・新学校給食センターについて



塚本しゅん一

◎土岐市消防本部において女性消防士を採用してはどうか。又、女性消防団員の増員を考えてはどうか。

◎組織体制や施設設備等も含めた中で検討していきたい。女性消防団員については、各分団に八名配置して、一層ソフト面における消防団活動を強化します。

◎救急・安心カードを作成し全世帯に配布することで、救急時の対応と速やかに医療機関に伝えることができるのではないか。

◎各家庭におけるカードの管理がしっかりしているか常に正しい情報が更新されているかなどの管理について逆効果を生じるおそれも考えられ、実態をよく調査して、導入についての判断をしたいと考えています。

◎新給食センターでの食物アレルギーの児童・生徒への対応はどうされるのか。

◎アレルギー対応食に対応できる特別調理室の設置を計画しております。例えば除去食にするか代替食とするのかまたどのアレルギーまで対応していくのかなどさまざまな問題が複雑に絡んでいきますので、課題を整理しながら進めていきます。

◎給食センターから出る生ゴミ処理の減量化・リサイクル化をどう考えているのか。

◎生ゴミ処理機の導入は、時期尚早と考えている。生ゴミを粉碎、脱水し二割から三割程度減量化した上で、環境センターでの焼却処分をすることが適当と考える。



▲ききょう消防団

・広域連携について
・委託料について



長江 光則

◎広域連携は東濃三市に限定せず、検討してみてもどうかを提案します。県の枠にとられない連携とか、互いがメリットとなる事業の可能性を模索する時代です。東濃三市ではゴミ行政に関しては、それぞれの道を歩くとのこと。他の市町との連携も検討する余地があり、病院問題についても、広域消防に関しても同様であると考えます。地場産業の振興という観点からは土岐市が、多治見が、瑞浪がなどと論ずることは意味のないことだと思っております。研究機関については県の試験場と三市がそれぞれに持ち、業務、設備に関しても重複するものは多く、展示施設もセラミックパークを筆頭に十一カ所もあり、類似施設の乱立を避け効率的な行政サービスを提供する観点から外れています。

◎連携についてはどんな組み合わせでも協力できるところがあればそれはやればよいと思っております。美濃焼の産地は三市ですが、それぞれ内容が違い、ひとつくりでは出来ないと考えている。

◎近年、業務の効率化を理由にアウトソーシングが行政においても盛んになってきた。専門業者への委託は効率的であり人員削減を進めてきた自治体にとってまさに助け船です。地域のこと、市民の気質も含め、一番よく解っている市職員にこそ出来ることがあると思えます。大変な作業ではありますが、やりがいのある仕事であるともいえます。土岐市に於いて先進的な取組をした例は過去にもいくつもあつたはずですが、是非とも挑戦して頂きたい。

◎安易に外部委託に頼ることのないよう、予算編成時においても委託の是非、効果及び内容について、業者に任せすることなく指示徹底している。

・今回実施のプレミアム商品券について
・相談窓口の一本化について



小栗 恒雄

◎今回のプレミアム商品券は、市民の間では商品券を何口も交換できた人と交換できなかった人ができ、市民の間では不満がくすぶっています。貴重な税金を使いプレミアム商品券により、むしろ不公平感が広がったとの声が聞こえてきます。今回実施のプレミアム商品券について、市長のお考えをご答弁ください。

◎百年に一度の不況で市内の事業所で物が売れないわけですから、プレミアムで市内の事業喚起を図ってほしい。三十分〜四十分で売れ殆どの人が買うことができなかつた。必ずしもやり方がどうかという話はわかりませんが、一億一千万円の需要は確実に物は売れ、そういう意味で経済効果はあつたかなと思います。

◎障がい者世帯が困った時に市に相談する際、市の窓口が福祉・教育・保険・労働関係といういろに及び、保護者はそれまでの成長や療育過程について、同じ話を何度も繰り返すこともあるそうです。市の窓口は縦割りになっており保護者には分かりにくいそうです。そこで相談窓口の一本化を要望いたします。

◎今日の制度は細分化され、専門の担当者が直接聞き適切な対応するようになっております。お越しいただいた市民の皆様にはできるだけ同じことを聞かなくて済むように、職員間の連携を図っているとありますが、窓口の一本化については、困難な状況であると考えております。



▲現在の市役所窓口